



暗闇のスキナー

授業のマルチモーダル記録と
オンライン試験のスコア比較

森下美和 (神戸学院大学)

加藤直人 (明治大学)

佐藤洋 (Ardor Learning Inc.)

原田康也 (早稲田大学)

2021年2月26日 @ 日本英語教育学会第51回年次研究集会

発表内容

- ◆ Introduction (森下)
- ◆ neo eTest (加藤)
- ◆ Ardor myEnglish (佐藤)
- ◆ Results (森下)
- ◆ Conclusion (森下・原田)

研究の背景

- 原田康也・森下美和 (2013) 「日本人英語学習者の言語処理と言語運用能力：Versant English Test のスコアを中心に」 電子情報通信学会『信学技報』 2013-14, 1-6.

Versant English Test と OQPT のスコア比較

- 原田康也・鈴木正紀・森下美和 (2017) 「多様な英語能力の測定」 日本認知科学会第34回大会発表論文集, 1124-1131.

Versant English Test、Versant Writing Test、OQPT のスコア比較

→Receptive skill と Productive skill が乖離している。

研究の背景

アジア諸国のTOEFL® iBTの平均スコア

→日本人のReceptive skillがProductive skillと比べてとりわけ高いというわけではない。

	R	L	S	W	T
Singapore	24	25	24	24	98
India	23	24	24	24	95
Korea, Republic of	22	21	20	20	83
China	21	20	20	20	81
Japan	18	18	17	18	72
AVERAGE	21.2	20.9	20.6	20.5	83

(ETS, 2020)

研究の目的

- Receptive skillのみを扱った3つのテストについて、スコアとそこから推定されるCEFRレベル比較する。
- Receptive skillおよびProductive skillの定義について、改めて検討する布石としたい。

参加者（K大）

関西の私立大学1年生2クラス（受講生53名中48名分の有効データを使用）

授業内容：Reading & Writing@ZOOM

授業スケジュール：2020年4月～2021年1月

10月13日 neo eTest

12月 1日 OQPT ver. 1 & 2

1月12日 Ardor Learning myEnglish
Placement Test

参加者（W大）

関東の私立大学1年生3クラス、2年生2クラス、3~4年生1クラス（受講登録者90名、定例出席者88名中67名分の有効データを使用）

授業内容：応答練習・プレゼンテーション・作文を中心とした授業@ZOOM

授業スケジュール：2020年9月末～2021年1月末

10月20日、29日～11月中旬（授業時間外）neo eTest

11月19日、24日（授業時間内）OQPT ver. 1

12月1日、3日（授業時間内）Ardor Learning
myEnglish Placement Test

About Me

加藤 直人 **明治大学サービス創新研究所 研究員**

東京都出身。上智大学外国語学部英語学科卒業。

日本航空(株)、国際教育交換協議会TOEFL事業部長（日本のTOEFL運営事務局）

アール・プロメトリック(株)、(株)スカイクルージング代表、沖縄ツーリスト(株)グローバル経営戦略室グローバル化推進部長。
麴町アカデミア(株) 非常勤取締役

DynEd (ダインエド) について

- DynEdは1987年に米国サンフランシスコで創業。DynEd = Dynamic Education
- マルチメディアを活用した英語学習教材のパイオニア。
<http://www.dyned.com/>
- 現在世界75ヶ国以上で2500万人が学習中。
- 対象：幼児から成人向け一般英語、ビジネス英語まで対応。専門英語コースとして、パイロット、管制官向け**航空英語コース**、ホテル、観光人材向け**ホスピタリティー英語コース**がある。
- 最新学習コースとして、スマートフォン、タブレット向けに**neo+**が開発された。運営は子会社のNexgen English Online Co.

neo+の特長は？

- スマートフォン、タブレット端末で学習する
- 米国DynEd社の過去30年以上のデータに基づき、成功した学習者のモデルをAIで分析
- 最初に実力診断テストのeTest(20分)を受験
- 受験結果により学習コースが決定する。世界基準のCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)のA1の場合は、A1+コースを受講する。
- 毎週3時間～5時間学習。6000ポイント獲得を目標。
- 学習期間は、各コース標準3ヶ月で修了可能。最長で8ヶ月使用可能。
- 各コース修了後にCEFRレベルの認定書を発行
- 詳しくは、 <https://myneo.space/video>

neo+学習開始から修了まで

- neo eTest (実力診断) 受験
- 学習開始時のCEFR のレベル確定後目標のコース決定
- 11段階のコース
Pre1→A1→A1+→A2→A2+→B1→B1+→B2→B2+→C1
→C1 Bridge
- 学習開始→ 1日30-45分、週3時間程度
- 6,000ポイント/週の獲得を目標に学習
- 2週間に一度、オンラインで25分担当コーチからアドバイスを受け、学習内容に基づき会話
- 各レベルの学習内容別にMastery Test(習熟度テスト)を受験、最終的にCertificate Test に合格して修了
- CEFRレベルの認定書を発行

neoのeTestについて

- DynEdのPlacement Testをベースに同社の子会社Nexgen English Online Co.がneo受講者向けに開発
- DynEdのPlacement Testは、0.0～5.0のスコアで評価
- neo+受講者向けeTestはCEFRのレベルにて評価
A1=0.5, A1+=1.0, A2=1.5, A2+=1.7, B1=2.0,
B1+=2.2, B2=2.5, B2+=2.7, C1=3.0, C2=3.5
- テストはCAT(Computer Adaptive Test)
- 試験時間は20分

neo eTestの受験方法について

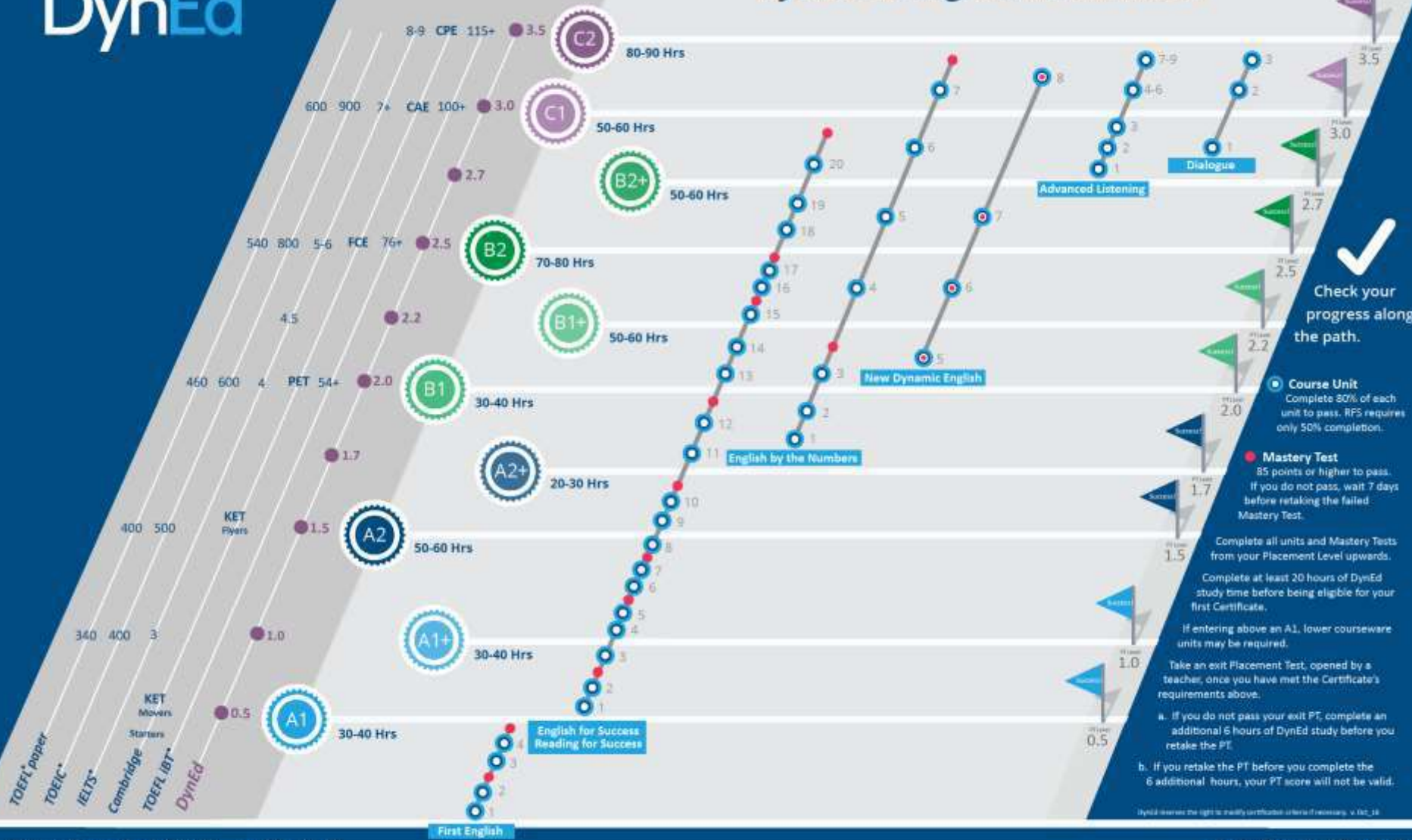
- まず初めに現在の英語力を確認の為にneo eTestを受験して頂きます。
- 試験時間は最長で20分です。
- 出題された前の問題に戻ることはできません。
- 結果は、次のページのCEFRのレベルで評価されます。
- 試験終了前にもう一度受験したい場合はStart Overをクリックすると1回だけ再受験可能です。
- テスト開始方法

受験用リンク先からneo eTestを受験します。パソコンではなく、**スマートフォン、タブレット端末にて受験**してください。（Chrome, Firefox, Safariのみ使用可能）

- ▶ **静かな環境でヘッドフォンを使用して受験**してください。

Exam Correlations

DynEd Pro English Certification



Check your progress along the path.

Course Unit
Complete 80% of each unit to pass. RFS requires only 50% completion.

Mastery Test
85 points or higher to pass. If you do not pass, wait 7 days before retaking the failed Mastery Test.

Complete all units and Mastery Tests from your Placement Level upwards.

Complete at least 20 hours of DynEd study time before being eligible for your first Certificate.

If entering above an A1, lower courseware units may be required.

Take an exit Placement Test, opened by a teacher, once you have met the Certificate's requirements above.

a. If you do not pass your exit PT, complete an additional 6 hours of DynEd study before you retake the PT.

b. If you retake the PT before you complete the 6 additional hours, your PT score will not be valid.

DynEd reserves the right to modify certification criteria if necessary. © Oct. 18

Show off your English skills - get Certified!

Academic Plan II

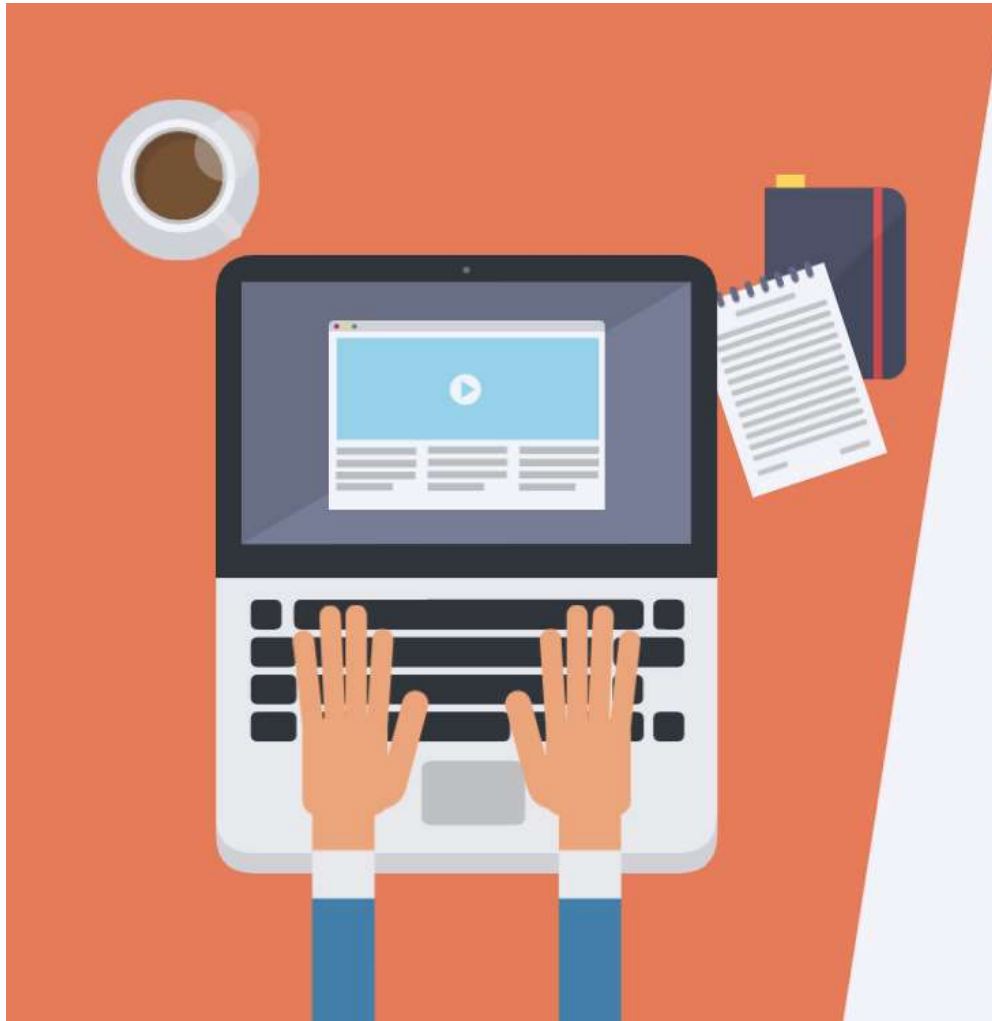
Ardor Learning English Assessment





オリジナルのテストは、
オックスフォード大学出版
局がFlash Playerを使ってPC/Mac用
に開発





Ardor Learningにて開発

HTML5とChromebook/Tablet/Mobile
に対応



PC/Mac/
Chromebook/
Tablet/Mobile

60問&60分



Listening



Reading



&

don't knowを選択

???



Ardor Learning English Assessment特徴

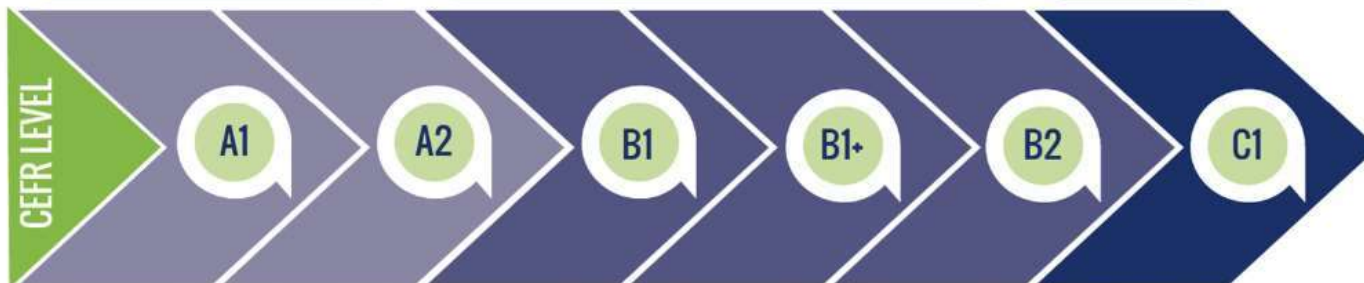
- ✓ 60問で60分のテストです。
- ✓ リスニングとリーディングのテストです。
- ✓ 5つの回答から1つを選択する。分からない場合は「don't know」を選択。

結果のスコアによって
myEnglishレベルとCEFRのレベル
が分かります。

初級ユーザー

中級ユーザー

上級
ユーザー



myENGLISH LEVEL



Oxford Quick Placement Test

- paper & pencil version (photocopiable) が冊子（2冊組；ver. 1 & 2）として販売されていたものを使用した。
- Googleformで作成しなおし、自動採点機能を使用して評価した。
- 現在は自動採点システムを導入したOxford Online English Placement Test (OOPT)が販売されている。

3つのテストの内容比較

	neo	Ardor	OQPT
問題数	非公表	60問	60問
所要時間	20分	60分	30分
満点	3.5	60	60
評価項目	Reading & Listening	Reading & Listening	Readingのみ (vocabulary, grammar)
CEFRレベル	PreA1~C2	A1~C1	PreA1~C2
特徴	CAT (computer adaptive test) Chrome, Firefox, Safariのウェブブラウザのスマートフォン、モバイル端末で受験	分からない問題は'don't know'を選択 PC/Mac/Chromebook/Tablet/モバイル対応	paper & pencil (本調査ではGoogleformを使用)

3つのテストのCEFR比較 (K大、n=48名)

	neo	Ardor	OQPT
Starter~Pre	10名	0名	0名
A1~A1+	28名	0名	1名
A2~A2+	9名	7名	32名
B1~B1+	1名	41名	14名
B2~	0名	0名	1名
満点	3.5点	60点	60点
平均点	0.8点	26.0点	27.1点
CEFR平均	A1+	B1	A2

3つのテストのCEFR比較 (W大、n=67名)

	neo	Ardor	OQPT
Starter~Pre	1名	0名	0名
A1~A1+	8名	0名	1名
A2~A2+	19名	0名	1名
B1~B1+	25名	38名	28名
B2~B2+	13名	27名	30名
C1~	1名	2名	7名
満点	3.5点	60点	60点
平均点	1.9点	39.3点	39.4点
CEFR平均	A2+	B1+	B1

まとめ

- Receptive skillを測定するテスト間でも、CEFRレベルは異なっていた。
 - CEFR は明確な基準を示すものではない。
- 特に、いずれもListening & ReadingのテストであるneoとArdor間での差が大きかった。
 - CATかどうかなどテスト方式の違いによる可能性
- しかし、発表者のうち2名がneoとArdorを受験したところ、いずれのテストも同じ結果であった。
 - 中上級者以上についての信頼性が高い可能性
- 従来型のOQPTと比べてneoとArdorはスピード感があり、難易度が高く感じられる。
 - いずれのテストもReceptive skillと同時にProductive skillも測定していると考えられる。



ご清聴 ありがとうございました

森下美和（神戸学院大学）

加藤直人（明治大学）

佐藤洋（Ardor Learning Inc.）

原田康也（早稲田大学）

2021年2月26日@日本英語教育学会第51回年次研究集会